



丹後地域 リハビリ通信

第17号

～うさぎのブランコ～

編集／発行

丹後地域リハビリテーション支援センター
 (公益財団法人 丹後中央病院リハビリテーション科内)
 〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302

e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com

ホームページよりPDF形式でご覧いただくことができます

平成26年度 第3回事例検討会開催の報告

「自動車運転のためのリハビリテーション ～“車が足” 丹後の高齢者の暮らしを支えよう～」

日時:平成26年10月27日(月)

事例報告

「高齢者の運転と私たちが見守りすべきこと」

(株)うえもり グループホームふれあい管理者 桑原さわ江氏(介護支援専門員)

「脳血管障害の方の自動車運転再取得への取り組み」

公益財団法人 丹後中央病院 作業療法士 蔦壁 梓氏

情報提供

「高齢者が関係する交通事故について」

京丹後市警察署 交通課長 白井 里志氏

「地域の連携基盤構築に向けて」

網野自動車教習所 副管理者 堀 大介氏

「岡山県におけるリハビリ運転サポートについて」

丹後地域リハビリテーション支援センター 東 小百合 コーディネーター



福祉、行政、医療、教習所職員中心に **32** 名の方に参加いただきました。

丹後の住民にとって生活の足である自動車運転をテーマとした初めての事例検討会でした。これまで連携したことの無かった警察や教習所とも情報交流ができ、「免許証返納の促進をした場合の後の対策」や「リハビリ等による運転技能の再教育におけた体制づくり」など課題を確認できる場となりました。



麻痺などで下肢が使えない方が手だけで運転可能な車両を見学しました。
網野教習所、岩滝教習所に教習車があります。

免許の自主返納のメリット

市町村ごとに運転免許証の自主返納に対して次のような支援があります

京丹後市

「住民基本台帳カード(写真つき)」の無料交付
 「KTR安心おでかけ定期券」、「丹海バス乗車証」又は「市営バス回数券」のいずれかの乗車チケット(6か月分)の無料進呈

与謝野町

住民基本台帳カードの発行(交付手数料500円を免除)、ひまわりバス回数券の交付、KTR安心おでかけ定期券(6か月間)、丹海バス運転免許証返納支援乗車証(6か月間)

伊根町、宮津市でも同様の支援事業があります。

平成26年度 看護職・介護職ステップアップ研修の報告

丹後リハビリオールスターズ結集!!!

リハビリ専門職が教える腰痛予防の秘訣

～カラダのメンテナンスから介助法まで～

介護、医療員中心に 25 名の方に参加いただきました。

今年度も丹後地域セラピスト連絡会のメンバー「丹後リハビリオールスターズ」が講師となり研修会を開催しました。

自分自身の身体を知り、自分の身体も守ることにより、よいケアを提供することにつながるのではないかとということで、今年度は「腰痛予防、対策」をテーマとしました。

講義 「腰痛に対する考え方～体のしくみと腰痛のメカニズム」

見えない腰痛は、日々の生活スタイルによって、生じる不良姿勢がきっかけで、

- ①筋肉の緊張と腹筋・背筋バランスの崩れ
- ②骨支持が増える事で骨盤・脊柱の炎症・負担増加による骨盤緩衝作用の低下
- ③インナーユニットの弱化により、アウターユニットのオーバーワークによる上下肢柔軟性の低下を引き起こします。



不良姿勢が不良姿勢をよび腰や体には負担ばかりかけることにつながります。

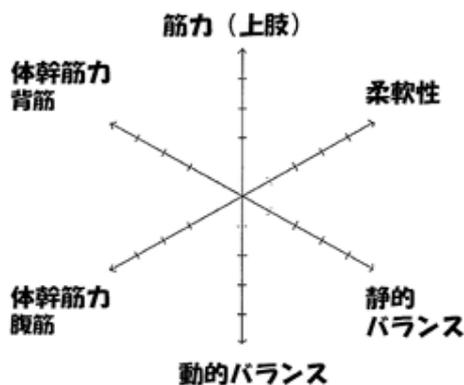


このまま長い時間・期間・年月が経つことで、見える腰痛になるのでご注意ください！

腰痛特化型体力評価 「自分のカラダを知ろう」

6項目の体力評価を行いました。結果を点数化しレーダーチャートにおとすことで、自分の体の特徴を知ってもらいました。

腰痛特化型体力評価 レーダーチャート



バランスを 考えて食べて食べて 肥満体

実技「カラダのメンテナンスから介助法まで」

○プリベンション体操について紹介

理学療法士の高橋氏監修のDVDを使用し、参加者全員でプリベンション体操を行いました。

○これだけ体操の紹介

腰を曲げる機会の多い介護職には、
息を吐いて3秒間だけ腰をそらせる これだけ体操



○介助方法の紹介・実技

「腰に負担がかかる介助」と「腰に負担がかかりにくい介助」について、実技を通して紹介しました。

- 〔 ベッドから車椅子への移乗
座り直しの介助
床からの立ち上がり

“乗り助さん”の紹介など、福祉用具を適切に利用する事の大切さを伝えました。



丹後リハビリオールスターズより

- ★介護現場はシフト勤務などもあり、体操をすることが難しいけれども、声かけをして習慣にしてもらい、腰痛予防はもちろん事故防止にも努めてほしい。
- ★職場環境を見直すことも重要です。必要な用具が適切に利用されているか見直してほしい。
- ★自分の身体を守ること、大切にすることで、お互いにとってよいケアにつながります。自分の身体のことをしっかり理解してほしい。

丹後地域リハビリテーション実践交流会

お気軽サミットin丹後2015

講演

『リハビリテーションと栄養管理』

～サクセスフル・エイジングにむけたフレイル(虚弱)予防～

講師：今中 美栄 氏 (京都光華女子大学 健康学部健康栄養学科)

実践報告

①『住民主体の健康づくり』

報告者：宮津市

②『介護現場の力を地域で発揮～地域に出向く支援事業～』

報告者：久美浜・佐濃デイサービスセンター

③『入所者の快適な排泄に向けて』

報告者：特別養護老人ホーム 与謝の園



会場

野田川わーくぱる

ミニ講座 高次脳機能障害と自動車運転 第3回事例検討会資料より

「特定の症状を呈する病気など」がある方が退院後に自動車を運転するには医師の診断が必要です。

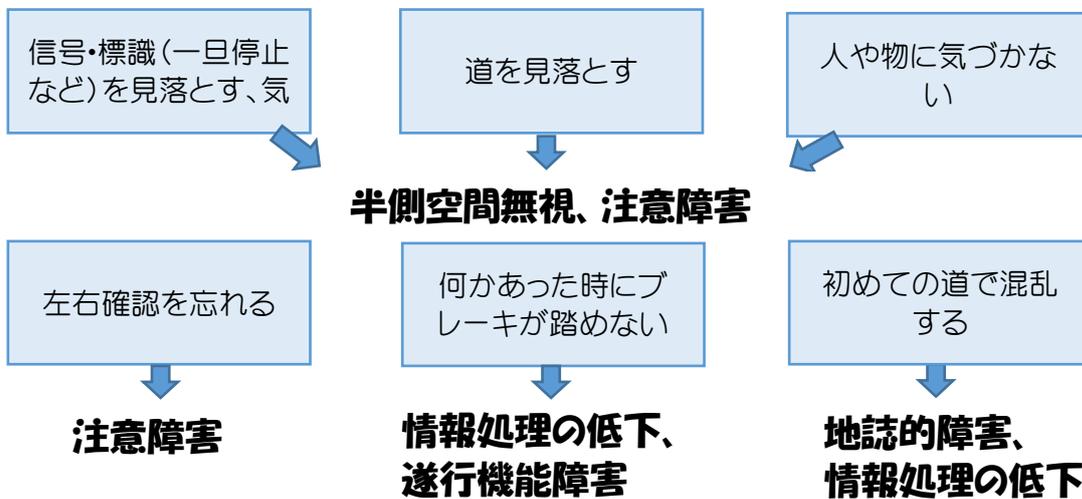
正しい手続きを行わず無申告での運転が発覚すると、罰則が適用される法改正が、平成25年に行われました。

*** 特定の症状を呈する病気とは**

肢帯不自由や認知機能障害、高次脳機能障害、てんかん、精神障害などが含まれています。

高次脳機能障害には、様々な状態と程度があり、軽度のものであれば運転は可能ですが、障害が重複していたり空間認知に障害があるケースでは運転不可となる場合があります。

高次脳機能障害の影響でみられる運転の状況



丹後地域リハビリテーション支援センター お気軽サミットin丹後

リハビリ川柳大募集



延長 締め切り:平成27年2月27日(金)

一人一句に限り募集いたします。ご利用者様、ご家族様、従事者などどなたでも応募可能です。平成27年3月6日開催の「お気軽サミット(実践交流会)」の場で、最優秀賞、優秀賞などを発表する予定です。入選された方には素敵な賞品を考えておりますので、奮ってご応募ください。FAX、メールで受け付けています。応募用紙はホームページからダウンロード可能です。

URL <http://www.tangohp.com/tangoshien.html>